



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト経済：米国の対エジプト財政支援と IMF の緊急融資受け入れ拒否
(11、13 日付現地各紙)

1. 10日、アラビー計画・国際協力大臣は、米国とエジプト政府との間で行われた財政支援に関する署名について、以下のように述べた。
 - (1) エジプト政府は、米国政府との間で、1億9,000万米ドルの無償資金協力による財政支援供与に関する合意文書への署名を完了した。同署名には、カンディール首相およびアン・パターソン在エジプト米国大使が同席した。
 - (2) この度の支援は、エジプト政府が全ての社会勢力とともに作成し、IMFに提出された経済・社会改革プログラムに対する米国の支援の一環である。
 - (3) (2011年5月に) オバマ大統領が発表した10億米ドルの支援パッケージのうち、4億5,000万ドルに関しては、1回目に1億9,000万米ドル、2回目に2億6,000万米ドルを供与することになっており、この度は1億9,000万米ドル分の署名を行った。今回の支援は財政支援と投資プロジェクトに用いられる予定である。さらにエジプトは、6,000万米ドルをエジプト・アメリカ・ビジネス協会経由で受け取った。
 - (4) この度の合意は、承認のため、数日以内にシューラー評議会に提出される予定であり、米国側は約3週間で手続きを完了次第、送金するだろう。
2. 11日、IMFは長期的な融資を得るための交渉を待つ間のオプションとして、エジプトへの緊急融資を発表した。IMF報道官は以下のように発言した。
 - (1) 同緊急融資は、早急な融資手段の一形態であり、(国家が) 財政的に必要とした場合のオプションとなりうる。
 - (2) 最終的にエジプト政府は、自身で必要な決定を下すだろう。IMFは現在、エジプト政府が提示した経済(改革)プログラムとマクロ経済に関するプロジェクトについて検討している。
 - (3) IMFはこの困難な局面において、エジプトを支援することを熱望しており、エジプト政府は待たなしに改革を行う必要性に迫られている。
3. IMFによる緊急融資に関するヒガーズィー財務相の発言
 - (1) エジプト政府は、IMFからの7億5,000万米ドルの緊急融資提供の提案を拒否した。なぜなら、利益よりもリスクの方が大きいからである。
 - (2) IMFの48億米ドルの借款供与に向けた合意を妨げる政治的な問題が存在しており、政治的な分裂が続く限り、この融資を受け取る予定はない。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799